

戸籍の窓口から ※戸籍の窓口で掲載の確認ができた方を掲載しています。

○お誕生おめでとうございます

くすのき その たかのり
楠木 想乃ちゃん (女・貴成) 8/9 早来富岡

たむら しゅうま ゆきたか
田村 脩真ちゃん (男・幸崇) 8/13 早来大町

おおかわら りつ しょう
大川原 璃紡ちゃん (男・将) 8/14 早来栄町

○ご結婚おめでとうございます

さいとう かずと
齊藤 一人さん 安平

かみの れい
神野 滯さん 安平

○お悔やみ申し上げます

あおき かずお (102) 早来大町 8/1
青木 一夫さん

おたに きょうこ (84) 遠浅 8/6
雄谷 京子さん

おおき ヤエさん (93) 安平 8/13
大木 ヤエさん

やまだ マスエさん (97) 追分旭 8/16
山田 マスエさん

よこやま しょうじ (83) 追分若草 8/19
横山 昭治さん

やまだ こ (76) 追分青葉 8/20
山田 ヤス子さん

ささき のりこ (79) 早来富岡 8/21
佐々木 則子さん

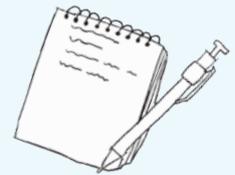
ふるさと納税 (7月実績)

安平町は、たくさんの方に応援いただいています。
1,449件 (金額17,074,000円)

安平町の人口・世帯数 (令和2年8月31日現在)	
総人口	7,639人 (-37)
男性	3,784人 (-17)
女性	3,855人 (-20)
世帯数	4,070世帯 (-18)

※交通事故死ゼロ運動の日数は、交通安全だよりをご確認ください。

広報あびら 編集者コラム vol. 4



いざという時のための準備 地域おこし協力隊 木下 知佳

北海道胆振東部地震から2年が経ちました。遠く離れた大阪からテレビで見た映像が今でも目に焼き付いています。私自身も大きな地震を2度経験。阪神淡路大震災から20年ほど経った2019年6月、大阪北部地震が発生。避難したほうがいいのか、今どうすべきなのか、慌ててインターネットで検索し、情報収集するような状態でした。それからは避難袋の準備や食料の備蓄などを常に心がけるように。

大阪北部地震があった同じ年の9月、今度は非常に強い勢力の台風21号が上陸、大阪でも想定外の被害に。台風で命の危険を感じたのはこの時が初めて。準備していた避難袋が役に立ち、事前の準備の大切さを実感することとなりました。



北海道に来てからも、今の状況や現在の生活に合った避難袋を作成。コロナ対策として、アルコール消毒液やマスク、石鹸をプラス。最低限にしたつもりが、かなりのボリュームに。本当に必要なものなのかを何度も見直し、なんとかリュックに収めました…

災害はいつ起こるか分からないもの。いざという時にすぐ行動できるよう、事前に準備や計画をしておきましょう！

"改善を止めない" ために

"どうしたらもっと良くなるか?" を考えて

総務課情報 G 小林 誠

新型コロナウイルスの感染状況によっては、今後どうなるかわかりませんが、8月は町民の方々が参加できる事業が増えてきました。町民の方々が集まり、顔を合わせ、笑い話で笑顔になる。そんなシーンを広報取材を通して見られ、何だか感慨深く思ったり。今後は、そういうシーンを特集としてお伝えしたいところです。

まちが進める事業や計画。そういったものは「難しいから見なくて良いや」となりがちなんでしょう。多くの人に、その中でも、子ども達に少しでも伝えていくにはどういう広報が良いのか。「完成して満足」、「自分が伝えたい内容を盛り込めたから満足」という広報紙ではなく、「みんなが気になる広報紙」が目指すべき姿と思っています。劇的に変わることがなくても、少しでも良い広報をお届けできるよう奔走しよっと。



(左)「久しぶりに外に出て談笑した。企画してくれて良かった」との参加者の言葉が印象的だった。
8月6日

(右) 田植えの時期はコロナ禍。今ようやく、田んぼの観察までできるようになった。
8月28日



早来小学校「田んぼ学習」